



「歩きたい」本当の想い

リハビリテーション科、科長の本城和成と申します。私が何よりも目指していることは「患者さまが笑顔で社会生活へ戻れるよう支援すること」です。そのきっかけとなったひとつの出来事があります。

10年以上前に担当した患者さまとの出会いです。仲の良い母と娘2人で生活をされていました。母である患者さまは麻痺のある手で「練習だから」と手紙を娘さまや職員に書いてくださる方でした。彼女の目標は「歩きたい」でした。入院当初は一人では立てない状態でしたが徐々に回復し、病院内・外を1人で歩けるようになり、退院に向け試験外泊を実施しました。自宅内や車までの移動、スーパーでの買い物は問題なく行えました。しかし「いつもの喫茶店に行っただけ歩けなかった」と伝えられ、私は信じられませんでした。詳しく聞くと「いつもの窓際の席まで人を避けながら通る勇気がなかった」と。退院までの残り期間で何度も練習しました。退院後に届いた手紙には感謝の気持ちといつもの喫茶店の窓際から、仕事に向かう娘さまの車が通る所を見守る事ができる喜びが記してありました。私は仲の良い親子の関係にとても温かい気持ちになりました。他の患者さまでも同様です。「歩きたい」想いの理由は様々です。復職、孫と公園に行く、ゴルフや温泉に行く等、その「歩きたい」想いに寄り添えるようにこれからも努めます。



令和8年度、当院のリハビリテーション専門職員は50名を越える予定です。若手職員と共に、リハビリテーション科全体が成長していきたいと思っています。具体的には時間を効率化するためのプロジェクトチーム活動と、リハビリテーションの質と退院支援の向上を目的とした臨床グループ活動の2本柱で進めます。経験年数が20年を越える職員に新入職員が相談しながら取り組んでいます。技術力の向上だけでなく治療の進め方や退院支援について、過去の経験や新しい知識を幅広く意見として出し合っています。科として今後も、より質の高い治療・支援を、患者さまやご家族さまに多く提供できればと思っています。「歩きたい」本当の想いに寄り添い続ける科を目指します。

リハビリテーション科 科長 本城 和成

病院の理念・基本方針

1. 豊かな人生への支援

- ①QOL(Quality of Life：生活の質)を重視したチーム医療の実践
- ②患者さまを主体とした思いやりのある医療・サービスの提供

2. 地域社会への貢献

- ①健康増進と予防医学の啓蒙
- ②地域医療機関・福祉施設との緊密な連携

患者さまの権利

- 1. 患者さまは公平で良質、かつ安全な医療を受ける権利があります。
- 2. ご自身の病気や治療について知る権利と十分な説明を受ける権利があります。
- 3. ご自身の治療について、担当医師から提示された治療方法を選択または拒否する権利があります。
- 4. 病院に対して、意見、要望を述べる権利があります。
- 5. 患者さまのプライバシーは常に保護・尊重されます。

我々の目標

- A. 疾患の治療にとどまらず、患者さまの生活・社会背景を考慮して、最適な医療・サービスをご提案します。
- B. 安全で安心できる快適な療養環境の整備を行い、満足していただけるケアが提供できるように努めます。
- C. 日々進歩する医学に対し、正確な医学知識の習得を常に心がけます。
- D. 診療技術および看護・介護技術向上のための研鑽を怠りません。
- E. 診療内容・医療情報をわかりやすく説明し、互いの信頼関係を築くことを心がけます。
- F. 患者さまのプライバシーに配慮し、個人情報の秘密を守ります。
- G. 地域医療機関・福祉施設と協力し、医療から福祉へ連続したサービスを提供できるように努めます。
- H. 働く人の生き甲斐となるような病院、職場づくりを目指します。



「ゼーベン湖(オーストリア)」

加藤 恵子 作



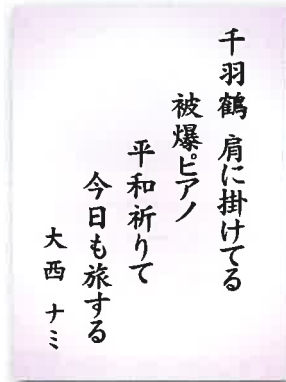
私たちは、春日井の魅力発信を
応援するパートナーです。

春日井市短詩型文学祭「フレフレ!フレイル予防教室参加者」の受賞作品のご紹介

春日井市在住の大西ナミさんが、第45回(令和7年度)春日井市短詩型文学祭りにおいて、短歌一般の部で「秀逸賞」を受賞されました。大西さんは、昨年4月19日、当院にて「時刻を経て未来へー被爆ピアノを通して心と幸せと平和を人生の先輩よりー」のテーマで行った「フレフレ!フレイル予防教室」(高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係るポピュレーションアプローチ業務委託)に参加され、その際の感動を短歌にされたそうです。「平和の種まき」として、全国各地を千羽鶴と共に旅をしている被爆ピアノの使命が伝わる素晴らしい短歌です。大西さんの了解を得てここに紹介させていただきます。



昨年当院で行われた
フレフレ!予防教室の様子



地域連携課 山本 知枝子

介護保険の豆知識 ～要介護認定～

体の不自由や認知症など様々な理由により在宅で介護保険サービスを利用する場合、介護施設に入所する場合、いずれも「要介護認定」の申請を行い、「要介護度」の認定を受ける必要があります。40才から64才の方は国が定める16種類の特定疾病のみが対象です。65才以上の方は、原因にかかわらず申請が可能です。申請先はお住まいの(住民票のある)市町村窓口です。

「要介護度」は、心身の状態や介護の手間などにより、要支援1・2、要介護1～5に認定されます。「要介護度」により利用できるサービスや施設の種類、サービスの量が異なります。認定結果が出るまでには申請から30日程度を要します。申請に行けない方は、お住まいの地区の「地域包括支援センター」にご相談頂ければ、ご自宅に伺い申請書作成のお手伝いや申請代行も可能です。

介護に関するお困りごとがございましたら、当院にも介護保険の相談ができるケアマネジャーがおりますので、お気軽にお声かけください。





①重心とは

重心とは身体の質量の中心となる点(図1)のことで、立位でのへその下あたりにあります。歩行時にはこの重心点が左右・上下・前後に移動しています。また、座っている姿勢から立ち上がる際にも前方や下方へ移動しています。

●日常的な動作で考えてみましょう。

庭整理(草刈りなど)では立った姿勢のまま前かがみで草刈りを行うよりも、しゃがんだり、椅子に座って行うことで重心の位置を下げることで安定して行うことができます。また腰への負担も軽減されます。

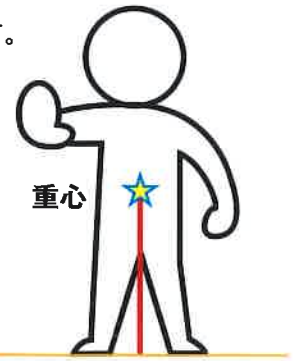


図1

②支持基底面とは

支持基底面とは、身体が床や地面に接している場所(立位では足の裏、座位では座面)の周囲を囲む面のことです。

※バランスを崩すとは、身体の重心が支持基底面から外れようとしている状態です。

●日常的な動作で考えてみましょう。

①靴下を履く場合

立った状態で片足立ちで靴下の着脱を行う動作は支持基底面が狭くなるため不安定となり転倒のリスクが高まります。

片足立ちが難しい場合は椅子などに座って行うことで重心も低くなり、支持基底面も広く安定して行うことができます。



●両脚での立位
支持基底面が広い

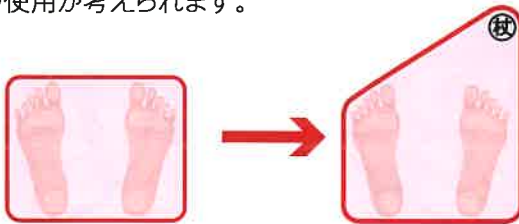


●片脚での立位
支持基底面が狭い

支持基底面

②歩行の場合

歩行時にふらつく原因はさまざまあります。歩行を安定させる手段として杖や歩行器などの使用が考えられます。



※杖や歩行器を使用することで支持基底面が広くなることで歩行が安定しやすくなります。



理学療法士 西川 史耶

陽和福祉会より

春の訪れとともに、暖かな陽気を感じられる日々となってまいりました。

当施設でも、中庭を散歩するなど、ご利用者さまが外で過ごす時間が増えてきています。

さて、先日、桃源郷プロジェクトによる「ハナモモまつり」と同日に、どんぐりの森でも「春祭り」を開催しました。今年の「春祭り」は、どんぐり屋台をはじめ、ステージイベント、キッチンカー、ワークショップ、バザーなど、昨年よりパワーアップした企画での開催となりました。

施設外周に植樹されたたくさんのハナモモの花をはじめ、春に咲く様々な花を楽しみながら、賑やかな時間を過ごすことができます。

また、たくさんの方々のご協力により、無事にイベントを開催できることに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、様々な活動を通して、施設の魅力を伝えていきたいと考えております。



どんぐりの森 施設長 高木 貴史

院内セミナー

2/16 第2回医療安全研修

医療安全対策委員会

院外セミナー

1/28 第176回プライマリーケア塾
BOTについて再考してみる!

住友ファーマ株式会社

~ここ10年で登場した経口血糖降下薬との相性はいかに~

2/25 第177回プライマリーケア塾
COPD患者像から考えるビレーズトリ
~“見逃さない”ための選択基準~

アストラゼネカ株式会社

職員募集

常勤・非常勤

●看護師・准看護師 ●介護福祉士 ●介護士（未経験・無資格者応募可） ●看護助手
●理学療法士・作業療法士 ●社会福祉士

◎勤務日数等、相談可 ◎新入職員への支援研修を行っていますので、新卒の方、ブランクのある方も歓迎します。
◎託児所（定員有、平日日中のみ）もあります。◎なお、ハローワークや当院まで直接ご連絡の上、採用となった方には基本給が優遇
される場合があります。■休日/変形休日制（4週8休） ■委細面談/履歴書提出（写真貼付）※郵送可

担当/看護部 向・総務課 大川内

附属クリニック診療表

午前：9時～12時 午後：3時～5時

	月	火	水	木	金	土
内科	○	○	○	○	○	○
循環器内科		○	○	○	○	○
呼吸器内科						○
消化器内科	○	予約				
整形外科	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	○	○	○	○	○	○
乳腺外科		予約			予約	
ペインクリニック内科	○				○	
皮膚科		○				
心療内科		完全予約		完全予約		
健診科	予約	予約	予約	予約	予約	予約
内科	予約	予約	予約	予約	予約	予約
脳神経外科				予約		

*月曜日～木曜日午後の内科診療を予約制にて再開いたしました。

色色の診察は予約制となります。

- *乳腺外科の火曜予約は、第一火曜日のみとなります。
- *呼吸器内科は第二・第四土曜日のみとなります。
- *第五土曜日は休診です。
- *美容点滴・美容注射をおこなっておりますので、ご希望の方は附属クリニックにご相談ください。

案内図



周辺拡大図

春日井リハビリテーション病院
春日井リハビリテーション病院
附属クリニック

JR高麗寺駅より

- [名鉄バス] ●「東武東上線高麗寺駅」行→「神原」停留所下車 徒歩10分
- 「内々神社」行→「坂下出張所前」停留所下車 徒歩1分
- [かすがいシティバス] ●東武東上線→「坂下出張所」停留所下車 徒歩1分
- (はあとみらいライナー)

医療法人 陽和会

ホームページ: <http://www.kreh.or.jp>

〒480-0304 春日井市神屋町706

■春日井リハビリテーション病院

Tel:0568-88-0011(代)

Fax:0568-88-1548

◎一般病棟39床、回復期リハビリテーション病棟60床、療養病棟180床

■春日井リハビリテーション病院 附属クリニック

Tel:0568-88-0033

Fax:0568-88-0061

【在宅支援室】

◎訪問診療・居宅介護支援事業所

Tel:0568-88-1232

Fax:0568-88-0633

◎短時間型通所リハビリテーション(デイケア:1-2時間)

Tel:0568-88-0248

Fax:0568-88-0633

【診療健診部】

◎健診科

Tel:0568-88-8275

Fax:0568-88-0633

■地域包括支援センター高蔵寺

Tel:0568-37-0780

Fax:0568-37-0782

〒487-0025 春日井市出川町2-8-10